

吉野弘志 + 張林

contrabass

揚琴

11月15日(日)

開場 16:30

開演 17:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可)

MC 2,500円 + 2drink order

(1drink ¥600~)

CAFE BEULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



吉野弘志

1955年広島市生まれ。高校卒業後、広島交響楽団の田頭徳治氏に師事しクラシックコントラバス奏法を習い始め、その年の秋に上京してNHK交響楽団の野口武士氏に師事する。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科(コントラバス専攻)に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦(percussion)トリオ、加古隆(piano)トリオ、山下洋輔(piano)パンジャ・スウィング・オーケストラ、板橋文夫(piano)トリオ、塩谷哲(piano)トリオ、など数多くのグループに参加する。現代音楽の分野での活動も活発で、高橋悠治(piano, composer)、三宅煥名(piano, composer)、吉原すみれ(percussion)等としばしば共演、1985年には、故・武満徹プロデューサーの「MUSIC TODAY」に出演、2006年の東京オペラシティでの武満徹トリビュート・コンサート「SOUL TAKEMITSU」にも出演した。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』(メンバーは太田恵資(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla))、『吉野弘志モンゴロイダーズ・ネオ』(メンバーは小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(reg))を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ウッド奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブルFarna』などに参加している。リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダーズ」(メンバーは林栄一(es)、加藤崇之(g)、小山彰太(ds))(2002年/ohrai)と、ベース・ソロアルバム「on Bass」(2004年/rinsen music)、「吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side」(2013年/AKETAS DISK)がある。

張林

中国洛陽生まれ。5歳より揚琴を学び、後に北京中央音楽学院付属中学に入学。在学中は揚琴の第一人者、田克俊氏に師事。1987年同学院(大学)卒業後、中央歌舞団に入団し揚琴首席奏者に就任。89年来日、東京学芸大学大学院に入学。在学中より全国的な演奏活動を展開。93年ソニーミュージックよりソロアルバム「中国の美音/揚琴」をリリースし、同年「ステレオマガジン誌」の年間最優秀録音特別賞を受賞。94年東京と京都にてCD発売記念公演を行い、京都法然寺公演の様子はテレビ朝日「ニュースステーション」で全国放送される。また「エイジアン・ファンタジー・オーケストラ」、アジア最大の音楽祭「パンフィック・ミュージック・フェスティバル」、カナダ・ケベックのケベック・サマーフェスティバル」に出演。98年カナダのトロントに移住。01年カナダ国籍取得。アメリカ大陸や日本で演奏活動を行っていたが、05年より東京を本拠として日本における活動を再開。02年、03年、東京で「張林 揚琴リサイタル」を開催し、生の音を大事にした音作りで好評を博した。